

1. 会長 ご挨拶

会長 穂屋下 茂 (佐賀大学)

明治維新から 150 年。日本は、鎖国時代の終焉に伴って積極的に西洋文化を取り入れ、急速に先進国へと邁進していった。アメリカを抜くほどの勢いで経済大国日本に申し上がろうとしたとき、バブルが弾け、経済成長が急速に鈍化した。国民が同じ考えを持つように教育する金太郎飴形教育（戦後教育）は、実に効率は良かった。しかし、世界経済事情が良くなり、成長が一旦鈍化すると、目標を達成するために異質な者との討論は避け、言われるままに従った仕事しかできない人々は、目標を見失い、リーダー的人材を育成することも忘れてしまった。

「人間は考える葦である」というのは、フランスの 17 世紀の思想家・数学者であったブレーズ・パスカルの言葉である。本を読むよりテレビを愛する人々の日常生活。インターネットがもたらした利便性。考えなくても知識は手に入れ放題。歩きながらも、片手でスマホメールができる能力を備えた天才達！ なのにどうして・・・である。

発想に行動が伴えば、巨大な富さえもたらす高度情報化社会の到来。AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット化）、自動車の自動運転化開発の世界的な競争。どこまで発展するのか、未知なる世界が広がる。想像力に創造力。今、大きな教育イノベーションが始まろうとしている！

これから、ICT を活用した新しい教育を導入する国は増えるだろう。そして、それに成功した人々や国々が世界の経済を動かすことになるだろう。今先進国であっても、四半世紀も経たないうちに今のポジションが保てるかどうか分らない予測不能の時代に突入しているの気づいているだろうか。

今、我々にできること。それは、学生らが一人ひとり固有の考えを持ち、それを基に異なる考え（発想）を持って討論できる力や共創する力を持つように仕掛けることであろう。教育方針は原点までさかのぼるべきであろう。知識を得るには、e ラーニングでも十分である。しかし、発想力を広げるためには積極的に討論することが必要である。討論は一人ではできない。討論するには、発想の異なる者同士、異質な者同士が良い。同じ目的に向かって、あらゆる解決方法を駆使しながら、きちんと解決していく力。そのような力を育成できる ICT 活用教育環境を構築すべきである。私は、ICT を活用すれば、今までにできなかったそのような教育環境が構築できると信じている。

本協議会の推進力は微弱でも、e ラーニングをもっと活用できる大学教育環境構築を目指すべきであろう。LMS、教材、メンター業務等の e ラーニングシステムのノウハウ等を共有しながら、一方では軽い競争を行う姿勢が大事になってきている。e ラーニングを使いたいけれども ICT 活用に強くない大学等に対しては、e ラーニング実践の敷居を低くする方法を確立すべきであろう。

最後になりましたが、会員校の皆様方のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2. 2017 年度代表幹事校 ご挨拶

2017 年度代表幹事校
岩手県立大学

2017 年度は、岩手県立大学が e ラーニング協議会の代表幹事校を担当させていただきます。至らない点も多いかと存じますが、微力ながら当協議会発展のために全力を尽くしたく存じます。会員大学各位には、引続きご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

今年度の総会・フォーラムは、2018 年 2 月 28 日に開催予定です。詳細が決まりましたら、メール等でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしております。また、翌日のリメディアル教育学会東北支部大会へのご参加もあわせて、予定の調整をしていただければと存じます。

2018 年 2 月 28 日(水) 幹事校ミーティング、UeLA 総会・フォーラム、情報交換会
2018 年 3 月 1 日(木) リメディアル教育学会東北支部大会

【2017 年度 運営体制】

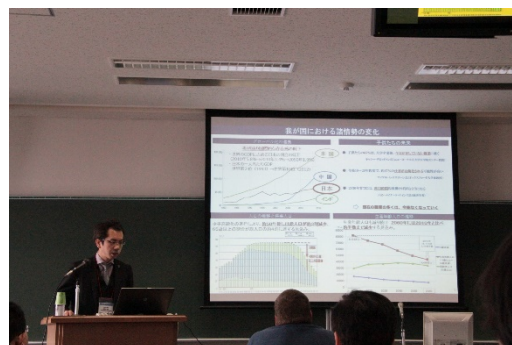
- 会長 : 穂屋下 茂 (佐賀大学)
- 代表幹事校 : 岩手県立大学
- 監査校 : 長岡技術科学大学、愛媛大学
- 事務局校 : 千歳科学技術大学、創価大学、信州大学、佐賀大学
- 幹事校 : 岩手県立大学、愛媛大学、大手前大学、金沢大学、熊本大学、佐賀大学、信州大学、創価大学、千歳科学技術大学、帝塚山大学、長岡技術科学大学、山梨大学

3. UeLA & TIES 合同フォーラム 2016 開催報告

2016 年度代表幹事校
帝塚山大学

3 月 17 日 (金)、18 日 (土) の 2 日間にわたり、帝塚山大学 奈良・東生駒キャンパスにおいて、「日本の教育改革と大学オンライン教育事情」をテーマに、UeLA & TIES 合同フォーラム 2016 が NPO 法人 CCC-TIES との共催で開催されました。

1 日目は、当協議会主催による「大学 e ラーニング協議会 総会・フォーラム」が開催されました。基調講演では、文部科学省高等教育局大学振興課課長補佐の石川仙太郎氏をお迎えし、「高大接続改革を軸とした大学教育改革の動向」というテーマでお話いただきました。我が国の現状から教育改革の必要性、入試選抜改革の概要、各高等教育機関に関する検討課題など、幅広い視点でのご説明がありました。学生をどう教育して社会へ送り出すか、大学の機能をいかに強化するかといった話題を中心に、18 歳人口が減少していく中で、各大学においても厳しい局面を迎えていること、改革が必要であること等が述べられました。



文部科学省高等教育局大学振興課
石川仙太郎氏

続いて、当協議会の成果報告ということで、幹事校である千歳科学技術大学の小松川浩先生より、当協議会会員校で利用できる教材やシステムについて説明がありました。当協議会では、大学間連携共同教育推進事業 (文部科学省) に採択されました、山梨大学、愛媛大学、佐賀大

学、千歳科学技術大学、北星学園大学、創価大学、愛知大学、桜の聖母短期大学による「8 大学間連携共同教育推進事業」をステークホルダーとして支援しています。その成果として、昨年度より、条件を満たせば当協議会会員が e ラーニング用教材と学修支援システムを利用できるサービスを開始しております。詳細は、e ラーニング共通基盤推進事業ホームページ (<https://www.uela.cloud/el-kiban>) をご覧ください。

ポスターセッション会場では 5 大学（山梨大学、大手前大学、佐賀大学、信州大学、九州工業大学）4 企業（株式会社内田洋行、オックスフォード大学出版局株式会社、富士ゼロックス大阪株式会社、NPO 法人 CCC-TIES）から、取組事例や研究事例、開発商品についての発表がありました。

また、同日の午前には NPO 法人 CCC-TIES によるワークショップが開催され、「教育をかえる Blockchain- CHiLO Chain -」というテーマで、同法人が開発するブロックチェーンを用いたオンライン教育システムについて、デモを交えて紹介がありました。

2 日目は NPO 法人 CCC-TIES が主催する NPO 法人 CCC-TIES シンポジウムが開催されました。同シンポジウムでは、大阪教育大学 仲矢史雄先生による基調講演、『教育 ICT の現場における実情と展望』、熊本大学 喜多敏博先生による招待講演『教え方を基本から変えてみよう、そのための ICT』、京都女子大学 宮下健輔先生、大阪教育大学 工藤俊郎先生、NPO 法人 CCC-TIES 附置研究所 堀真寿美先生により「オンライン教育現場から見た教育改革」をテーマとした報告があり、その後、活発なパネルディスカッションが行われました。

合同フォーラムの 2 日間でのべ 120 名を超える方のご来場がありました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。

なお、以下の 7 講演につきましては、インターネットでの配信を予定しております。詳細は後日、メールなどでご案内させていただきますので、ぜひご覧ください。

■3 月 17 日 UeLA フォーラム

- 1) 『高大接続改革を軸とした大学教育改革の動向』
石川仙太郎氏（文部科学省高等教育局大学振興課課長補佐）
- 2) 『大学 e ラーニング協議会の成果報告』
小松川浩氏（千歳科学技術大学教授）

■3 月 18 日 NPO 法人 CCC-TIES シンポジウム

- 1) 『教育 ICT の現場における実情と展望』
仲矢史雄氏（大阪教育大学准教授）
- 2) 『教え方を基本から変えてみよう、そのための ICT』



e ラーニング共通基盤推進事業ホームページ
(<https://www.uela.cloud/el-kiban>)



NPO 法人 CCC-TIES シンポジウム
パネルディスカッション

喜多敏博氏（熊本大学教授）

3) 『京都女子大学における e ラーニングの推進』

宮下健輔氏（京都女子大学教授）

4) 『非アクティブラーニング型授業におけるオンライン教材の利用』

工藤俊郎氏（大阪体育大学教授）

5) 『予測困難な時代の教育改革』

堀真寿美氏（NPO 法人 CCC-TIES 附置研究所主任研究員）

4. 2017 年度事業予定

1) 第 2 回佐賀大学教育関係共同利用拠点フォーラムの開催

日程 2017 年 8 月 29 日（火）～8 月 30 日（水）

会場 佐賀大学 本庄キャンパス（佐賀市本庄町 1）

8 月 29 日（火）

- 9：30～16：00 第 2 回佐賀大学教育関係共同利用拠点フォーラム
場所：教養教育 1 号館 2 階 125 教室
- 11：20～12：10 クリエイティブ・ラーニングセンター見学会
- 16：00～17：30 協議会 第 1・第 2・第 3 部会ミーティング
- 18：00～ 協議会 部会ミーティング情報交換会（予定）

8 月 30 日（水）

- 10：00～12：00 幹事校ミーティング
場所：総合研究 1 号館 ICT デザイン演習室
- 13：00～16：00 協議会・拠点合同ワークショップ
場所：総合研究 1 号館 デジタルデザイン演習室

2) 幹事校ミーティングのご案内

本年度第 1 回（予定）

日時 2017 年 8 月 30 日（水）午前

会場 佐賀大学（佐賀市本庄町 1）

本年度第 2 回（予定）

日時 2018 年 2 月 28 日（水）

会場 岩手県立大学 滝沢キャンパス（滝沢市菓子 152-52）

3) 総会・フォーラム 2017 の開催

日時 2018 年 2 月 28 日（水）

会場 岩手県立大学 滝沢キャンパス

5. 協議会よりお知らせ

1) 共通基盤システム活用のご案内

協議会では、昨年度まで文部科学省の補助事業で行ってまいりました大学間共同教育連携事業の成果を引き継ぎ、本協議会会員向けサービスとして、基盤教育向けの e ラーニング教材の共同利用を開始しました。数学（中学・高校・大学初級）、日本語、SPI 対策をまずは利用できます。また、年内には英検対策（5 級から準 2 級）までの内容を整備します。

会員大学は、試験利用期間（1 年間程度）は無料で、本格利用に際しては年間 7 万円で、どの科目でも利用可能としています。詳しくは、下記までご連絡ください。

千歳科学技術大学 理工学部 教授 小松川浩 hiroshi@photon.chitose.ac.jp

千歳科学技術大学 理工学部 助教 山川広人 yamakawa@photon.chitose.ac.jp

2) 大学間連携 FD 研修 要請のご案内

協議会では、ICT を活用した FD 研修やシステムに関する利用説明に対する、大学間の調整を行っています。

上記の共通基盤を活用した事例の紹介、入学前教育の実践事例、反転学習の取組み、また、Moodle の運用方法等、連携大学が提供可能な情報について、講師派遣の形で、各大学の FD 研修などに派遣をいたします。

協議会 HP の「視察・講師派遣」ページをご覧ください、ご興味のある大学は、担当校 信州大学 長谷川 (uela-dispatch@googlegroups.com) までご連絡ください。

「視察・講師派遣」ページ：

<https://www.uela.cloud/index/dispatch.html>

3) ICT 活用研修会(山梨)のご案内

協議会の共通基盤システムの活用方法を含む、研究会を行います。

e ラーニング協議会サーバ Solomonn 上にある共通基盤教材は、大学および高校での利用、高大接続での利用等で有効に活用できる貴重な教材です。

初日は、この 共通基盤教材の活用事例を学び、実際に教材を閲覧し、更にこれらを活用したい参加者向けに、2 日目にコース設定や学習履歴の参照方法などの実習を行います。

初日には、上記の他、英語教育への活用として、LMS と携帯端末活用に関する事例 紹介を行います。

2017 年 9 月 20 日 (水) 13:00-18:00

2017 年 9 月 21 日 (木) 9:00-15:00

(1 日のみの参加、web を視聴しての参加も可能)

【実施場所】山梨大学 情報メディア館 2 階 第 1 実習室

http://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/kofuc_2015.pdf

【定 員】実習室での参加：30 名（最小 10 名、最大 60 名）

【参加費】無料

【申込先】次の URL にて参加登録を受け付けています

<https://www.saga-els.com/clc/index.php/workshop/20170920>

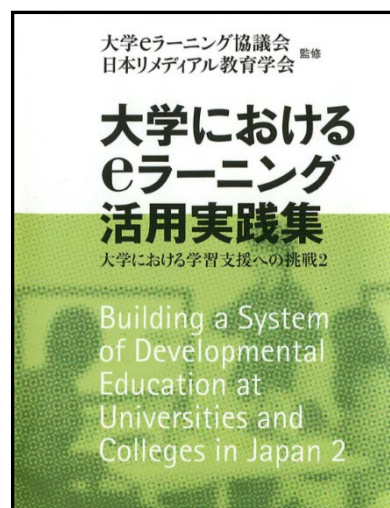
6. 書籍のご案内

日本リメディアル教育学会 (<http://jade-web.org>) と本協議会が監修した書籍「大学における e ラーニング活用実践集 大学における学習支援への挑戦 2」が、2016 年 1 月 30 日に、ナカニシヤ出版から発行されました。

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b214708.html>

この書籍は、大学教育現場での ICT を活用した教育実践とアクティブラーニングを含む新たな教育方法、教育効果の評価に関する知見をまとめ、さまざまなノウハウとともに紹介したものです。

ご購入、図書館への推薦など、ご周知くださいますようお願いいたします。



7. 事務局からのご案内

■会費納入のお願い

2016 年度および 2017 年度の会費未納の機関は、納入をよろしくお願いいたします。

振込口座 銀行名：北洋銀行 支店名：千歳中央支店 口座番号：普通 4126901

口座名義：大学eラーニング協議会

大学 e ラーニング協議会

■加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡下さい。

協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニューズレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

大学 e ラーニング協議会ニューズレター NO. 15 (2017年7月15日 発行)

事務局：佐賀大学 全学教育機構 穂屋下研究室

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

連絡先：E-mail uela_offices@googlegroups.com

FAX 0952-20-4731

※ できるだけE-mailにてご連絡ください

大学 e ラーニング協議会：<https://www.uela.cloud/>